



「暑さに負けずに『フッショイ!』」

8月20日に行われた弟子屈神社例大祭パレードで、みこしを担ぐ子どもたちをとらえました。例年になく厳しい残暑の中でのパレードとなり、やや苦しい表情も。それでも、威勢のよい「フッショイ」という掛け声とともに、力強く練り歩きました。

Public relations magazine

2012.9

No.697

てしかが

主な内容

- 第5次弟子屈町総合計画の前期実行計画・・・②
- 防災ニュース・・・・・・・・・・・・・・⑫
- 弟子屈 2 days えこパスポート・・・・・・⑭
- 町長選挙・町議会議員選挙立候補予定者説明会など開催・・・⑯
- 初めまして! ウィリアム&エリックです・・・⑰
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設・・・⑲

むかしむか史 (263)

てしかが歴史写真館 137



1枚の看板

郷土研究会の一員として「てしかがの蔵」の資料整理をしていたときに、1枚の看板が目にとまりました。

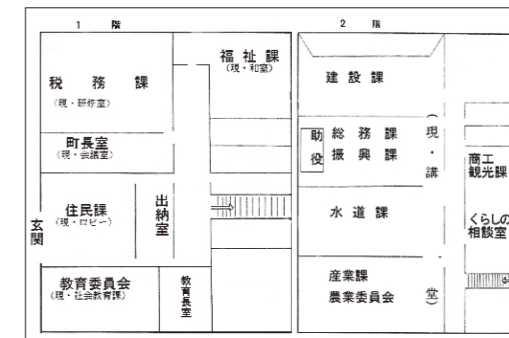
それは、1976年(昭和51)年の役場庁舎火災の折、公民館を仮庁舎として使用したときの看板でした。新庁舎落成まで1年あまり、その役目を果たし、今は「てしかがの蔵」に収蔵されているのです。

当時を思い起こせば、1976年6月5日未明、役場庁舎から出火。木造の建物は一瞬のうちに火の海となり、駆けつけてくれた多くの町民や職員の前で、火柱を上げて焼け落ちてしまいました。

あの、誰もがぼうぜんとした異常事態から立ち直り、役場庁舎の復旧・復興へと前進できたのは、町長以下役場職員、そして町議会の決意と努力のおかげだと思います。さらに忘れてならないことは、町民の皆さんの理解と支援による機運に恵まれたことです。

1977(昭和52)年10月17日、新庁舎落成記念式するとき、私の隣にいた町民の方は「立派な庁舎も出来て、弟子屈はこれから良くなるぞ…」と言っていました。私もそう思い、うれしかったことを覚えています。

ちなみに、当時の弟子屈町の人口は、約12,000人でした。



てしかが郷土研究会(江幡)



2012.9

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ㊟482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています